

ダノンジャパン、ヨーグルトで夏の健康管理を応援！ 全国有数の暑いまち 群馬県館林市で 「夏の健康、おなかから応援式」を開催 “ダノン BIO の日 (8 月 10 日)”にダノン ビオ 1,000 個を寄贈

ダノンジャパン株式会社（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：ロドリゴ・リマ）は、猛暑が続く夏の健康管理を応援する取り組みとして、8 月 10 日の「ダノン BIO の日[※]」に群馬県館林市役所で「夏の健康、おなかから応援式」を開催しました。当日は、館林市の多田善洋市長より、市が推進する熱中症対策の取り組みが紹介されたほか、ダノンジャパンから、夏の健康管理における「水分保持」と「腸内環境を整えること」の重要性や、ヨーグルトが果たす役割について説明しました。また、100 倍胃酸に強いビフィズス菌 BE80 を配合した「ダノン ビオ」シリーズを紹介するとともに、ダノンジャパン館林工場長より多田市長へ「ダノン ビオ」1,000 個を寄贈。さらに、製品の配布先となる学童保育施設の子どもたちへ直接ヨーグルトを手渡しました。



【多田市長によるご挨拶と、市の熱中症対策について】

イベント冒頭には館林市の多田善洋市長が登壇し、「ダノンジャパンは、日頃から館林市の産業と雇用を支えてくださる大切な『地元のパートナー』」と述べたうえで、今年も市では既に最高気温 38 度や 39 度を超える日が複数あることに触れ、「熱中症対策は、市民の皆様の命と健康を守るうえで非常に重要かつ喫緊の課題と認識している」と説明しました。また市の取り組みとして、危険な暑さとなった際に避難できる「クーリングシェルター」を現在 29 か所で運用していることを紹介し、官民一体で「まち全体で涼む場所を確保する」体制づくりを進めていると述べました。

そのうえで、「市としては主に『からだの外からの暑さ対策』を進めているが、過酷な夏を乗り切るためには食事や睡眠といった『からだの内側からの健康づくり』も欠かせません。その意味で、今回ダノンジャパンからのご提案は、まさに市の取り組みと両輪となって市民の健康を守るものです」と、本施策への期待を寄せました。



【夏の健康管理と腸内環境の関係 / ヨーグルトの果たす役割】

続いて、ダノンジャパン マーケティング部 ブランドマネージャーの石毛光子より、本取り組みの背景と、夏場の健康管理における食習慣や腸内環境を整えることの重要性について説明しました。専門家のコメントを交えながら、夏の体調管理と腸内環境の関係に加え、水分補給においては飲料だけでなく、“水分を含む食品”をあわせて摂取することの重要性を紹介。その上で、水分を多く含み、善玉菌ケアにも役立つヨーグルトの役割について説明しました。

また、今回寄贈する「ダノン ビオ」シリーズについても改めて紹介。石毛は、「ダノン ビオは、館林工場の設立と同じ2002年に発売された製品です。発売以来、20年以上にわたり館林工場とともに歩みながら成長してきた、館林市と非常につながりの深いブランドです」と説明。さらに、「本日8月10日はダノン BIO の日です。これはお客様におなかの健康とおしさをお届けするとともに、腸内環境を整えることの大切さを普及していくための記念日です。今年のダノン BIO の日は、日頃からダノンビオの生産活動を支援いただいている館林市の皆様への感謝の気持ちを届けるとともに、全国有数の暑い街で暮らす皆様の夏の健康をおなかから応援する機会にできればと思っております」とコメントしました。



<内科・小児科・アレルギー科 医師 武井智昭先生のコメント>

「夏の熱中症や夏バテ対策では、こまめな水分補給が重要であることは広く知られています。一方で、効率的な水分補給は『飲み物』だけでなく、『水分を多く含む食品』を組み合わせることも有効です。特に乳製品は、含まれるたんぱく質やミネラル等により体内の水分保持をサポートする可能性が示されており、ヨーグルトは水分と同時にたんぱく質と手軽なエネルギーを補給できるため、夏場のコンディション管理に適した食品といえます。



さらに夏の高温環境下では、暑さによる体力の消耗だけでなく、冷房による冷えや冷たい飲み物の摂りすぎ、麺類などに偏った食事によって、胃腸の働きや腸内環境が乱れやすくなります。腸は栄養の吸収、免疫などの全身のコンディション維持を担う重要な器官であるため、腸内環境の乱れは夏の全身倦怠感や食欲低下などの悪循環を引き起こす要因にもなります。

だからこそ夏の健康管理においては、外からの水分補給だけでなく『おなかの健康という土台』を整えておくことが欠かせません。食欲が低下し栄養が偏りがちな暑い時期だからこそ、腸内の善玉菌を意識的に補い、腸内環境の良好なバランスを維持することが、夏に負けない体づくりにつながります。

ひんやりと喉ごしがよく食べやすいヨーグルトは、食欲がない時でも無理なく手軽に栄養を摂れるだけでなく、善玉菌を日常的にケアできる最適な選択肢の1つです。単なる喉の渇きを癒す水分補給にとどまらず、夏の健康維持に『おなかから整える』という視点をぜひ取り入れていただきたいと思います。」

【ダノン ビオ 1,000 個を館林市へ寄贈】

発表会の最後には、「ダノン ビオ」1,000 個の寄贈式が行われました。ダノンジャパン館林工場の後藤工場長は、「館林市はダノンジャパンにとって単なる一生産拠点ではなく、事業と生活の基盤そのものです。地域とのつながりを感じながら、日々生産活動をできることに深く感謝しております」と館林市への感謝の気持ちを述べました。また、「ダノン ビオは、多くのお客さまにご支持いただいている当社の主力ブランドの一つです。日頃お世話になっている館林市の皆さまへ、感謝の気持ちをお届けしたいという思いで寄贈に至りました。今後



も館林市の皆さまが健康に、そして元気に過ごせるよう、より多くの製品をお届けしていきたいと考えています」とコメントし、多田市長へ「ダノン ビオ」1,000 個を寄贈しました。寄贈された製品は、夏の間に館林市内の学童保育施設や公民館で、市民の皆さまに無償配布される予定です。

その後、寄贈先の一つでもある学童保育施設の子どもたちが登場し、「ダノン ビオ」製品を直接受け取りました。「ヨーグルトは好きですか」と問われると、子どもは「好きです。いつも朝ごはんの後に食べています！」と回答。子どもたちが様々なスポーツをしていることを聞き、「しっかり食べて、暑い夏に負けないようにみんなで元気に乗り切りましょう！」と MC がエールを送りました。



※ダノン BIO の日（8 月 10 日）とは

ダノン ビオは、ブランドロゴの「BIO」が数字の「810」と見えることから、2018 年に 8 月 10 日を「ダノン BIO の日」として一般社団法人日本記念日協会に登録しました。2002 年に日本で初めて発売して以来、ダノン ビオは 20 年以上にわたり日本の皆さまの腸活をサポートし、「おなかの健康」と「おいしさ」を届けることに力を注いできました。8 月 10 日（ダノン BIO の日）をきっかけに、腸内環境や健康習慣について改めて考える機会の創出を目指しています。



<ダノン ビオについて>

ダノン ビオは、日々の体調を整えながら、毎日自然に、おいしく続けられる「腸活」をサポートするブランドです。100 倍胃酸に強く、生きて腸まで届くビフィズス菌 BE80 を配合した、様々な製品ラインナップを展開しています。日本では 2002 年に初めて 4 個パックの「ダノン ビオ ヨーグルト」を発売し、以降ロングセラーブランドとして多くの方々にご愛顧いただいています。「[ダノン ビオ ヨーグルト](#)」は、プレーンや様々なフルーツシリーズに加え、年に 4 回の季節限定品を展開。また 2024 年には、腸活に必要なビフィズス菌 BE80、オリゴ糖、食物繊維を一度に摂取できる個食タイプのヨーグルト「[腸活これだけ](#)」シリーズを発表。2025 年には、脂肪燃焼効果が報告されている希少糖アルロースを配合し、おなかの調子を整えながら脂肪の燃焼を高めるダノンジャパン初のドリンクタイプ製品「[脂肪燃焼ヨーグルトドリンク](#)」を展開。現代の多様なライフスタイルに合わせ、毎日おいしく続けられる「腸活」を多彩な製品ラインナップでサポートしています。<https://www.danone.co.jp/bio/>

<ダノンジャパンについて>

1919 年に世界初のヨーグルト工業化に成功し、現在フランス・パリに本拠を置くダノンは、「世界中のより多くの人々に、食を通じて健康をお届けする」ことをミッションに、健康を重視した製品群を通して世界中でシェアを拡げている、食品・飲料業界のリーディングカンパニーです。ダノンは「チルド乳製品と植物由来の製品」「ウォーター」「専門栄養食品」の 3 つのカテゴリーでグローバルに事業を展開しており、世界 120 以上の地域で製品を販売しています。日本市場には 1980 年に参入し、現在はダノンジャパン株式会社として、乳製品の「ダノン ビオ」「ダノン オイコス」「ダノン ヨーグルト」「ベビーダノン」「プチダノン」、また植物性食品（オーツミルク）の「アルプロ」を展開しています。またダノンジャパンは 2020 年、日本の大手消費財メーカーおよび食品業界で初めて、社会や環境に配慮した事業活動において一定の基準を満たした企業のみ与えられる国際認証「B Corp」を取得しており、「One Planet. One Health」というビジョンのもと、より健康的で持続可能な事業展開・経営に尽力しています。

<https://www.danone.co.jp>